



# CSR

REPORT 2020

Corporate Social Responsibility Report



**理研ビタミン株式会社**

## — 目 次 —

### 02 トップメッセージ

#### 特集

#### 04 重点テーマ(マテリアリティ)の特定

#### 06 理研ビタミングループのCSR

#### 08 ●組織統治

・・・コーポレートガバナンス

#### 09 ●労働慣行

・・・労働安全衛生/ワークライフバランス

#### 10 ●人権

・・・ハラスメントの防止/健康経営

#### 12 ●環境

・・・環境マネジメント推進/地球温暖化防止/  
廃棄物の削減/  
ライフサイクルアセスメント/  
ゆりあげファクトリーの取り組み/  
フロン類の漏えい防止/FSC®認証紙の採用/  
再生可能エネルギーの利用

#### 16 ●公正な事業慣行

・・・CSR調達/知的財産権の保護/  
情報セキュリティの推進

#### 17 ●消費者保護

・・・品質保証/適時適切な情報開示/  
お客さまとのコミュニケーション

#### 18 ●コミュニティへの参画及び コミュニティの発展

・・・国連WFPへの協力活動/  
地域のイベントへの参加/  
理研ビタミンの“未来を拓く食育”

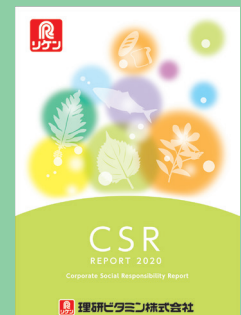
## トップメッセージ

近年、CSR経営やESG投資、SDGs(持続可能な開発目標)のような言葉がよく聞かれ、企業に対する社会的責任の要求が高まっています。企業には、利益を出すだけでなく、自社の事業が中長期的に経済や環境、社会にどのような影響を与えているかを評価、認識し、それらの課題解決に積極的に取り組んでいくという、持続可能なビジネスモデルの構築が求められています。

当社では、CSR活動を近江商人の経営哲学である「三方よし」になぞらえて、「みんなよし」活動と呼んで取り組んでいます。「CSRレポート2020」では、当社の“みんなよし”活動を、社会的責任に関する国際規格であるISO26000の7つの中核主題にそって報告しています。そのなかでも特に力を入れていく重要な課題として、事業を通じて貢献していく「消費者」、「汚染防止」、「環境配慮」というテーマ、会社全体で貢献していく「ダイバーシティ&インクルージョン」、「働きがい」、「研究開発」というテーマを、当社の「重点テーマ」として特定しました。これら6つの重点テーマへの取り組みを通じて、それぞれに対応するSDGsの達成にも貢献していきます。

#### □編集方針

本レポートは、理研ビタミンの「みんなよし」(CSR)に対する考え方や活動内容について、ステークホルダーの皆さまに報告することを目的に作成しました。「重点テーマ(マテリアリティ)の特定」を特集して、ISO26000の7つの中核主題別に、2019年度に取り組んだ内容を中心に編集しています。



当社は、理化学研究所に起源を發し、“天然物の有効利用を  
図る”ことをポリシーに研究開発を続けてきました。近年  
では、理研食品(株)(理研ビタミンのグループ会社)が「ゆり  
あげファクトリー」(宮城県名取市)を開設して、海藻産業  
が抱える課題について研究開発の視点から提案を行い、生  
産者の皆さまと一緒にわかめの生産性向上に取り組んで  
います。また、2019年10月には、食品用改良剤の国内研究  
開発拠点を千葉工場に集約して、基礎研究からアプリケー  
ションまで実施する「アプリケーション&イノベーション  
センター」を開設しました。天然資源を主原料とした乳化剤  
で、国内や海外の市場へ新たな価値を創造していきます。

昨年、当社は創立70周年という節目の年を迎えることがで  
きました。

今年には本社も移転し、創立80周年、さらには100周年にお  
けた新たなスタートの年になります。これまで以上に、“天  
然物の有効利用を図る”技術と商品で、「豊かな食生活、社  
会的責任、創造力、グローバル、人間尊重」のキーワードで  
表現される経営理念に基づいて、社会の持続的な発展に貢  
献していきます。

理研ビタミン株式会社  
代表取締役社長

山木一彦



□対象範囲

理研ビタミン株式会社  
(一部グループ会社に関する報告も含まれます)

□対象期間

2019年4月1日～2020年3月31日  
(一部対象期間外の内容も含まれます)

□参考にしたガイドライン

ISO26000 (社会責任に関する手引き)

□発行時期

2020年7月 (次回：2021年7月発行予定)

■会社概要 (2020年3月31日現在)

商 号：理研ビタミン株式会社

設 立 日：1949年8月27日

本 社 所 在 地：東京都千代田区神田三崎町2-9-18

資 本 金：2,537百万円

従 業 員 数：934名(連結2,274名)

## 重点テーマ(マテリアリティ)の特定

### ■ 理研ビタミンの重点テーマ(マテリアリティ)

理研ビタミンでは、「CSR基本方針」に基づき、事業活動を通して社会の持続可能な発展に貢献していきます。企業理念である“人々の健康と栄養に寄与し、社会に貢献する”ことを実現するため、2019年には当社として特に力を入れていく重要な課題として、CSR(みんな良し)活動の「重点テーマ」を特定しました。これらの取り組みを通じて、重点テーマに対応するSDGsの達成にも貢献していきます。



### ■ 重点テーマの特定プロセス

#### ○STEP1：社会課題の抽出

ISO26000、SDGsといった外部のガイドラインをもとに、理研ビタミンにとって重要な社会課題のリストをまとめました。



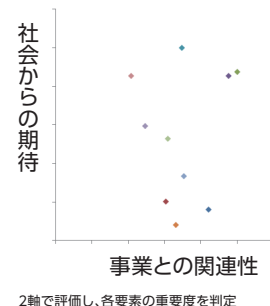
#### ○STEP2：社内外の視点から各要素の重要度を判定

STEP1でまとめた社会課題に対して、環境会議にて「理研ビタミンが与える影響(チャンス・リスク)」について、「事業との関連性」と「社会からの期待」の2軸で評価し、重要度を判定しました。



#### ○STEP3：重点テーマの特定

STEP2で抽出されたテーマについて整理し、社会と理研ビタミンの両方にとって重要度が高いテーマを、重点テーマとして特定しました。





SDGs(Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)  
 2015年に国連で採択された、2030年までの17の目標です。  
 持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから  
 構成され、「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

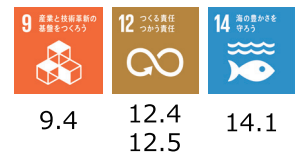
## 重点テーマ(マテリアリティ)

### 事業を通して貢献するテーマ

消費者

汚染防止

環境配慮



### 会社全体で貢献するテーマ

ダイバーシティ  
&  
インクルージョン

働きがい

研究開発



#### 消費者

適切な情報提供を行い、安全で信頼される商品をお届けします。また、お客さまの個人情報を適切に管理します。

#### 汚染防止

廃棄物を削減し、プロセスを管理して地球環境への汚染防止に努めます。

#### 環境配慮

温室効果ガスの排出削減などを通して、地球温暖化・気候変動防止への取り組みをすすめます。

#### ダイバーシティ & インクルージョン

多様性を尊重し、働きやすく働きがいのある職場をつくりまます。

#### 働きがい

心身ともに健康で意欲的に活躍できる、安全で健全な職場環境を維持・増進していきます。

#### 研究開発

新技術と新用途、新製品の開発を推進します。

※1 私たちの考えるCSR …経営理念をもとにしたCSRの位置付け(コンセプト)

※2 CSR基本方針 ……CSRの考えを実現するための具体的な方針

※3 重点テーマ ……当社として特に力を入れる重要なテーマ

# 理研ビタミングループのCSR

## 「私たちの考えるCSR」

理研ビタミングループは、「社会に対し、食を通じて健康と豊かな食生活を提供する」ことを経営理念として掲げています。

この経営理念をグローバルな視点をもって実践し、独自性のある技術と従業員一人ひとりの創意工夫により新たな価値を発信し続けることが、CSRの基本であると捉えています。

## ■ 経営理念

わたしたち理研ビタミンの「企業理念」は、1917年(大正6年)の理化学研究所創立時から「天然物の有効利用を図る技術と商品で、人々の健康と栄養に寄与し、社会に貢献する」ことです。この企業理念を継承し「経営理念」として掲げます。

### 社会に対し、食を通じて 健康と豊かな食生活を提供する

天然原料を事業展開の中心に捉え日々の生活に健康・安全・安心・豊かさを満たす製品の供給を行い、食生活の向上に貢献する。

### コンプライアンス精神に基づいた 事業活動を行い、社会的責任を果たす

顧客・株主・取引先・地域社会等のすべての利害関係者を尊重し、全社員が高い倫理観に基づいた行動と法令遵守の精神で全ての事業活動を行い、社会の一員として、社会的責任を果たし、信頼される企業となる。

### フレキシビリティのある かつ創造性に溢れた企業として発展する

メーカーとして、当社固有の生産シーズ(得意な原料・技術・設備)を活用して、多様化する、変化する、高度化する顧客ニーズに迅速・的確に対応する柔軟で創造力のある企業を目指す。

### 事業活動の視点・範囲を海外にも向け 「世界の理研ビタミン」としてのブランドを高める

企業活動のエリアを海外にも求め、内外のニーズに応えることにより、グローバルな企業としての存在感を高める。

### 人間尊重の思想に基づき 魅力ある職場をつくる

バイタリティに溢れた企業として、社員一人一人の創意工夫を尊重し、福祉向上を図ることにより生きがいを持って働ける魅力ある職場をつくる。

## CSR基本方針



### ① 組織統治

理研ビタミングループが事業を展開する全ての国・地域において法令を遵守し、ステークホルダーに与える影響を考慮しながら事業活動を行います。

また、迅速な意思決定を行うことのできる組織体制のもとで情報を適切に開示し、透明性の高い経営を行います。

### ② 人権

多種多様な能力・価値観・発想を持った個性を認め合い、ステークホルダーの人権を尊重した事業活動に努めます。

### ③ 労働慣行

従業員が安心して働くことのできるより良い職場環境を整えます。また、円滑なコミュニケーションのもとで能力を発揮し、やりがいを持って働くことのできる、自由闊達な風土づくりを進めます。

### ④ 環境

理研ビタミングループは、天然原料の有効活用を事業活動の中心に据えています。地球環境の尊さに感謝し、社会や自然との調和をはかります。

### ⑤ 公正な事業慣行

コンプライアンス精神に基づき、公正で誠実な取引を行います。また、取引先との信頼関係を大切に、互いの権利を尊重します。

### ⑥ 消費者課題

独自性のある原料・技術を活かし、安心安全かつお客さまの満足度を高める商品・サービスを提供します。

### ⑦ コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

事業資産や知見を活かして地域貢献度を高め、コミュニティと一体となった発展に努めます。

## CSR推進体制

理研ビタミングループでは、CSR経営を推進するために、「CSR推進委員会」を設置しています。

CSR推進委員会は、「CSR推進部」を事務局として、「CSR基本方針」に基づきステークホルダーを重視した活動を推進し、社会の持続可能な発展に貢献していくため、理研ビタミングループのCSR活動を活性化させ、社内外に情報発信していきます。

### CSR推進委員会

委員長：理研ビタミン代表取締役 社長

事務局：CSR推進部

開催頻度：4回/年(2019年度)

### CSR研修会

理研ビタミングループでは、2004年よりテーマにそって学ぶ「企業倫理研修会」を年1回開催しておりましたが、より積極的なCSR活動の実践に向けて、2018年度より「CSR研修会」に改称し、対象を広げて実施しています。

### CSR研修会

講演テーマ：『LGBTと企業の対応』(2019年度)

参加者：理研ビタミングループ(国内)幹部層 51名



CSR研修会

# 組織統治

理研ビタミングループが事業を展開する全ての国・地域において法令を遵守し、ステークホルダーに与える影響を考慮しながら事業活動を行います。また、迅速な意思決定を行うことのできる組織体制のもとで情報を適切に開示し、透明性の高い経営を行います。

## ■ コーポレートガバナンス

理研ビタミンは、「経営理念」に立脚した事業活動を行う中で、株主をはじめとするさまざまなステークホルダーからの信頼を高めるとともに、迅速・果敢かつリスクを勘案した意思決定を行える体制を構築し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上をはかり、経営の最重要課題の一つとして、コーポレートガバナンスの充実に取り組んでいます。

2017年からは、監査等委員会設置会社へ移行し、取締役会の監督機能の向上および経営の意思決定の迅速化をはかっています。また、取締役会は監査等委員である取締役5名（うち4名が社外取締役）を含む12名で構成され、経営の効率化、業務執行の強化を目的として執行役員制度を導入しています。さらに、取締役会の諮問機関である指名委員会および報酬委員会を設置し、取締役の選解任と報酬決定プロセスについて客観性と透明性の確保をはかる体制としています。

なお、経営の最重要課題の一つであるコーポレートガバナンスに対する会社の考え方や方針については、コーポレートガバナンス・ガイドラインを定め、開示しています。

### ■ 取締役候補者の指名・選解任の方針

取締役候補者の指名および取締役の選解任に当たっては、社外取締役が過半数を占める指名委員会における審議を経て取締役会が決議し、株主総会に上程します。監査等委員である取締役の候補者については、監査等委員会の同意を得るものとしています。

- ・取締役（監査等委員である取締役を除く）  
…優れた人格と会社経営や当社の業務についての豊富な経験と見識を有し、当社グループの持続的成長を推進できる人物
- ・監査等委員である取締役  
…専門的な知識と高い倫理観を有し、取締役の職務執行について中立的・客観的に監査・監督することができる人物  
※財務・会計に関する十分な知見を有する人物を1名以上含める
- ・社外取締役  
…独立性の基準を充たし、豊富な経験と専門的な知識を有し、社外の独立した立場から経営の監督と助言を行うことができる人物

### ■ 役員報酬の決定方針

理研ビタミンの役員報酬制度は、企業価値の継続的な向上を可能とするよう、中長期的な業績向上への貢献意欲を高める目的で設計されています。

取締役（監査等委員である取締役を除く）の報酬は、株主総会で決議された報酬総額の限度内において、社外取締役が過半数を占める報酬委員会における審議を経て取締役会で決定します。

取締役（監査等委員である取締役を除く）の報酬は、固定報酬と業績連動報酬（賞与および業績連動型株式報酬）から構成されます。役員報酬に占める各報酬の割合は、固定報酬比率を80%未満、賞与比率を20%以上とし、業績連動型株式報酬は報酬総額の10%を基準としています。

監査等委員である取締役の報酬は、固定報酬のみで構成されており、株主総会で決議された報酬総額の限度内において、監査等委員である取締役の協議により決定します。

また、2017年9月から取締役（監査等委員を除く）および常務執行役員を対象とした「業績連動型株式報酬制度」を、2018年9月から執行役員に対しても「株式付与ESOP信託」を導入しています。



# 労働慣行

従業員が安心して働くことのできるより良い職場環境を整えます。  
また、円滑なコミュニケーションのもとで能力を発揮し、  
やりがいを持って働くことのできる、自由闊達な風土づくりを進めます。

## 労働安全衛生

理研ビタミンでは、規模や事業内容の異なる事業所に合わせて、安全・衛生管理者や危険物の責任者等を配置し運用しています。

2018年度からは「健康経営」を導入し、働き方改革と連動して長時間労働の削減や有休取得の促進、ストレスチェックの実施、健診のサポートといった従業員の健康増進に向けた取り組みを進めています。

工場では、KYT(危険予知トレーニング)活動や3S(整理・整頓・清掃)の推進により、従業員一人ひとりが高い危機管理能力をもって業務にあたれるよう、安全への取り組みを進めています。

また、安否確認システムの運用訓練や防災用品の配備等、防災体制の整備にも取り組んでいます。

### QC(品質管理)活動

理研ビタミンでは、工場での業務改善手法として、QCサークル活動を行っています。テーマは、品質管理だけでなく作業性の向上やコストダウン、安全など多岐にわたります。

定期的に行われる工場での発表大会では、海外関係会社や他事業所が発表して相互に交流しているほか、優秀サークルは社外で開催される発表大会にも参加しています。

特に大阪工場では、QCサークルの社外発表を積極的に行っており、2019年度は「近畿支部 選抜大会」にて奨励賞を受賞しました。



QC発表大会(千葉工場)

QC関連資格取得者数(2020年4月1日現在)  
・QCサークル指導士:2名  
・QC検定 1級:1名 2級:5名 3級:97名 4級:23名

## ワークライフバランス

理研ビタミンでは、1994年から全ての従業員が家庭と仕事の両立をはかれるよう、育児・介護等の両立支援制度を設けています。現在は、ダイバーシティ推進の一環として多様なライフイベントに左右されず、だれもが働き続けられ能力を発揮できる環境を整えることで、『だれもが“働きやすく×働きがいのある”職場環境』を目指しています。

### 制度・実績

制度名称	実績 <sup>*1</sup>									
	2015年度		2016年度		2017年度		2018年度		2019年度	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
「育児・介護休業制度」	1	29	2	24	2	28	6	23	13	16
「育児・介護時短時間勤務制度」	0	36	0	41	1	42	2	46	1	43
「育児・介護のためのフレックスタイム勤務制度」	8	7	14	10	22	11	33	18	46	15
「育児・介護のための在宅勤務制度」 <sup>*2</sup>	—	—	—	—	—	—	8	22	16	26
「カムバック制度」	結婚・育児・介護などを理由に退職した社員が再び正社員として復職する機会を設ける									

<sup>\*1</sup>当該年度に制度を利用している社員数 <sup>\*2</sup>2018年より開始

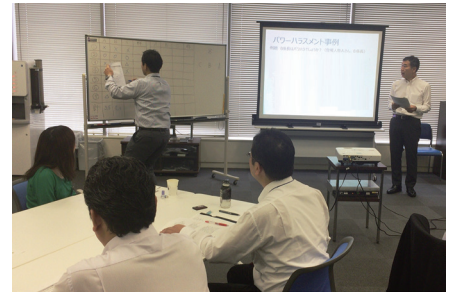
# 人権

多種多様な能力・価値観・発想を持った個性を認め合い、ステークホルダーの人権を尊重した事業活動に努めます。

## ■ ハラスメントの防止

理研ビタミングループでは、各職場のコンプライアンス実行委員を中心に「コンプライアンス学習会」が定期的開催されています。また、CSR推進部によるコンプライアンスの研修、「コンプライアンス通信」(毎月発行)、「コンプライアンス便り」(毎月発行)等にてハラスメントの防止に努めています。

- ・新任役職者研修参加者：15名(2019年度)
- ・新入社員研修参加者：28名(2019年度)

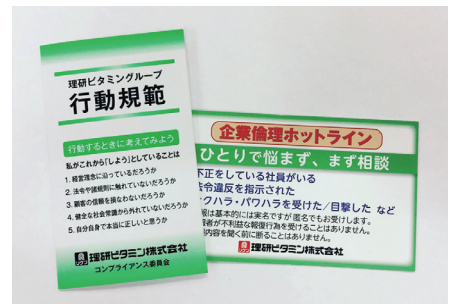


新任役職者へのコンプライアンス研修

## ■ 企業倫理ホットライン

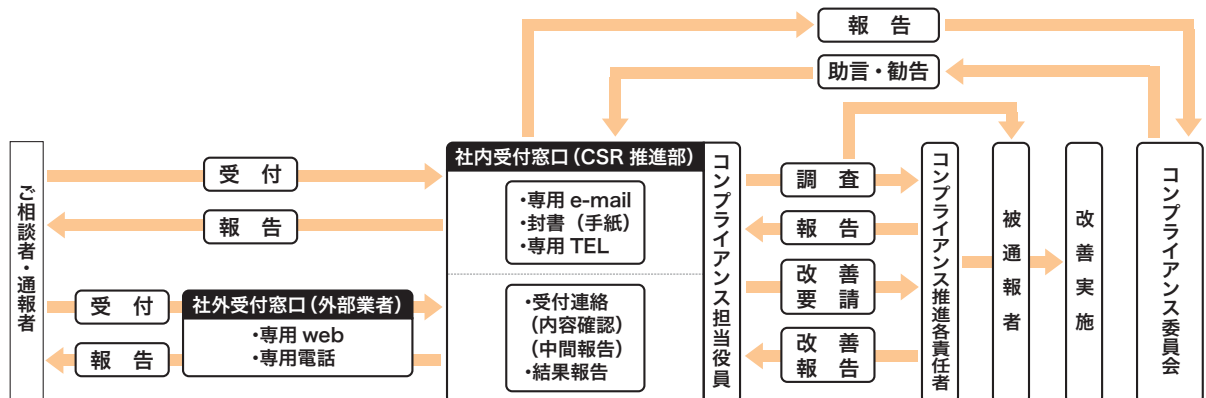
理研ビタミングループでは、ハラスメントやコンプライアンス違反等の相談ができる、「企業倫理ホットライン」を設置しています。専用電話やメール、封書による「社内受付窓口」のほか、専用電話・Webサイトによる「社外受付窓口」(外部業者)を開設し、携帯用カードの配布や社内ポスターを掲示して周知する等、利用しやすい環境を整えています。また、相談者が相談したことによって不利益な扱いを受けないよう、社内規定で定めています。

- ・企業倫理ホットライン 通報件数：18件(理研ビタミングループ 2019年度)



携帯用カード

## ■ ホットラインの仕組み



## 健康経営

理研ビタミンでは、ダイバーシティの推進の第5の柱として、「健康経営」を導入し、従業員が心身ともに健康で意欲的に活躍できる環境を醸成しています。この活動は、健康保険組合と共同で取り組み、従業員とその家族の日ごろの健康を保持・増進することで、活発な職場環境を維持・推進し、仕事の活性化をはかります。健康で活発な職場環境になるべく、「働き方改革」と連動し推進します。

### 8つのテーマ

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| ① 健康診断100%受診 | ⑤ 「運動」への取り組み    |
| ② 健康診断結果の活用  | ⑥ 「禁煙」への取り組み    |
| ③ 健康づくり環境の整備 | ⑦ 「心の健康」への取り組み  |
| ④ 「食」への取り組み  | ⑧ 病気の治療と仕事の両立支援 |

### ● 健康診断100%受診

- ・がん検診の費用補助を行い、受診を推奨することで健康管理と病気の早期発見を目指しています。

### ● 健康づくり環境の整備

- ・「コンプライアンス学習会」の教材に、心身の健康に関するDVDを追加しました。
- ・全事業所に血圧計・体重計を設置し、いつでも気軽に健康チェックができる環境を整えました。測定を推奨するイベントを開催している事業所もあり、従業員同士が健康について話し合える場となっています。



### ● 「禁煙」への取り組み

- ・2019年4月に、全事業所の喫煙所を閉鎖しました。敷地内を全面禁煙にして、受動喫煙の防止と禁煙へのきっかけになることを目的としています。

### ● 「食」への取り組み

- ・「理研ビタミンの食育」サイト内に「わかめ百科」をオープンし、皆さまにわかめの栄養素や成分、健康効果や働きをご紹介しています。
- ・理研ビタミンならではの取り組みとして、当社で健康効果を研究している「わかめ」に注目し、自社商品を活用した「わかめで健康！」企画を実施しています。従業員へわかめの健康機能やおいしい食べ方を紹介しているほか、食堂でもわかめを積極的に提供しています。「わかめの健康機能を知った上で、おいしくいただく」ことで、おいしさと健やかさを提供しています。

事業所にわかめ健康機能のポスターを掲示



健康機能を知って



食堂のトッピングやメニューでわかめを提供



たくさん食べて



社内報でわかめのレシピを紹介



自宅でも作れるアレンジメニューを紹介！



# 環境

理研ビタミングループは、天然原料の有効活用を事業活動の中心に据えています。地球環境の尊さに感謝し、社会や自然との調和をはかります。

## 環境マネジメント推進

理研ビタミングループでは、効果的・効率的に環境管理活動を推進していくために、PDCAサイクルをもって運営する体制として「環境会議」を設置しています。

### 環境会議

議長：理研ビタミン代表取締役 社長  
事務局：CSR推進部  
開催回数：2回（2019年度）



環境会議

## CO<sub>2</sub>排出量削減の中長期目標※

理研ビタミンでは、環境会議で議論を行い、社会や自然との調和をはかりながら事業活動を行うという「環境方針」の基本理念にのっとり、日本のCO<sub>2</sub>削減の中長期目標である「2030年度までに26%削減」を踏まえ、マイルストーンとして2023年度（第9次 中計最終年度）までのCO<sub>2</sub>削減目標を策定しました。

※理研ビタミン 単体

直接的なCO<sub>2</sub>排出

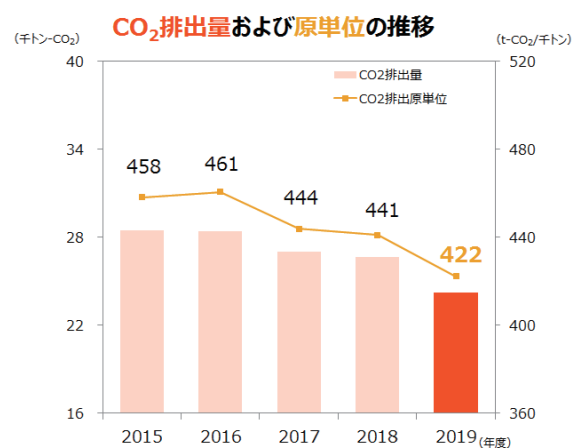
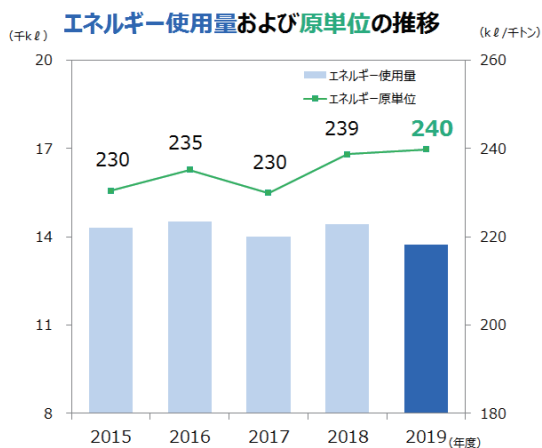
2023年度 CO<sub>2</sub>排出量：10% 削減（2015年度比）

間接的なCO<sub>2</sub>排出

2023年度 CO<sub>2</sub>排出量：10% 削減（2015年度比）

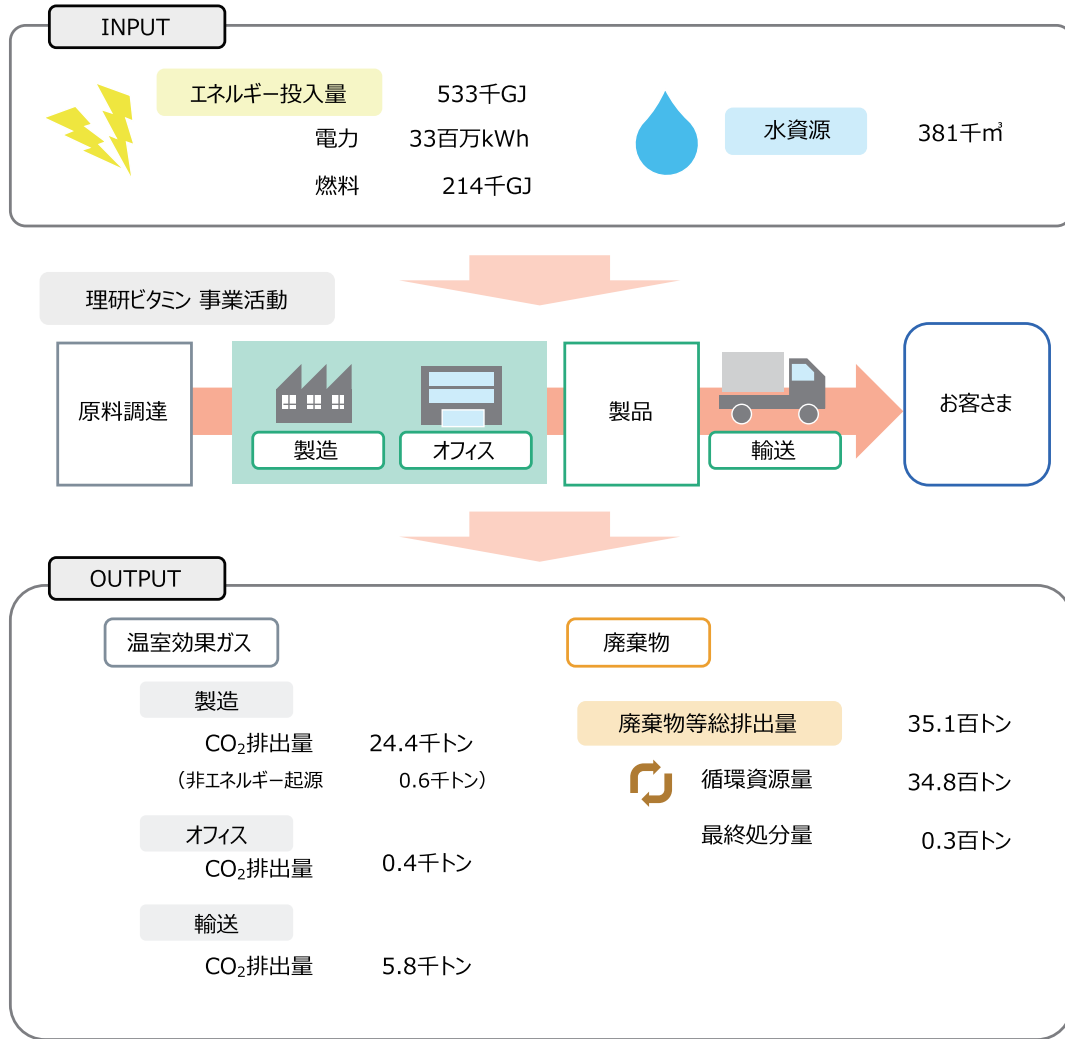
## 地球温暖化防止

理研ビタミンでは、企業活動による環境への負荷を考慮し、生産性の向上をはかるとともに、エネルギーの効率的な利用を推進しています。



※集計範囲：国内5工場 + オフィス部門 ※原単位母母：販売数量千トン ※CO<sub>2</sub>排出係数：電気事業者別排出係数による

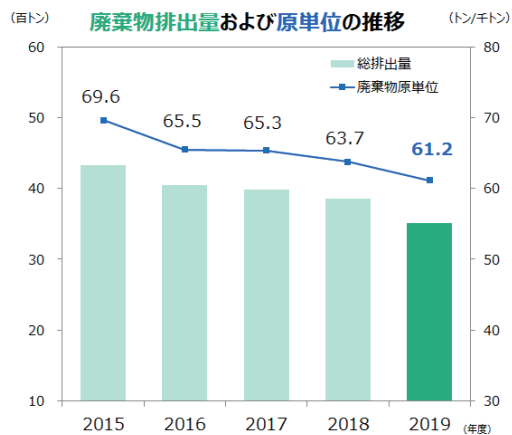
## ■ 理研ビタミン マテリアルフロー (2019年度)



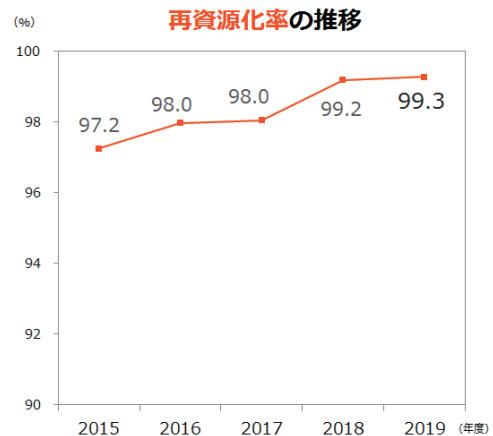
※集計範囲: 国内5工場+オフィス部門、物流部門

## ■ 廃棄物の削減

理研ビタミンでは、廃棄物発生量の削減やリサイクルの推進に取り組んでいます。



※集計範囲: 国内5工場+倉庫



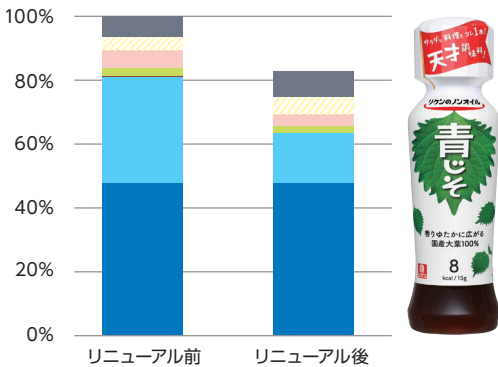
## ■ ライフサイクルアセスメント (LCA※1)

理研ビタミンでは、環境影響低減に配慮した製品を開発しています。製造、流通、消費者の使用・廃棄といった各段階を通しての、製品の環境への影響を把握するため、ライフサイクルアセスメント (LCA) 手法による環境影響の算定を行いました。

※1ライフサイクルアセスメント (LCA : Life Cycle Assessment) …原材料の製造から廃棄までのライフサイクル全体における環境影響を評価する手法

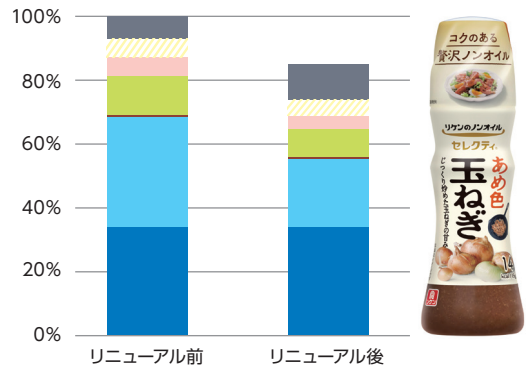
## ■ リケンノンオイル 青じそ のLCA

2019年にリニューアルした、リケンノンオイルシリーズ「青じそ」のLCAを算定しました。リニューアルでは、軽くなって持ち帰りやすく、落としても割れにくい、ペットボトル容器を採用しました。リニューアルの結果、ライフサイクルでのCO<sub>2</sub>排出量が18%削減されました。



## ■ リケンノンオイル セレクティ<sup>®</sup> あめ色玉ねぎ のLCA

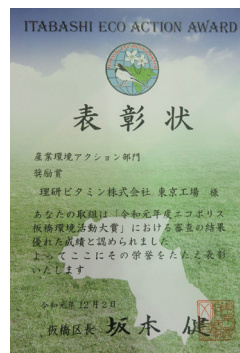
2018年にリニューアルした、リケンノンオイルセレクティ<sup>®</sup>シリーズ「あめ色玉ねぎ」のLCAを算定しました。リニューアルでは、軽くなって持ち帰りやすく、落としても割れにくい、ペットボトル容器を採用しました。また、ドレッシング生産設備も刷新し、包材の洗浄、殺菌方法の変更による生産性の向上がはかられています。リニューアルの結果、ライフサイクルでのCO<sub>2</sub>排出量が15%削減されました。



■原料 ■包材・副資材 ■調達物流 (包材・副資材) ■製造工程 ■出荷物流 (製品) ■使用 (冷蔵庫での保管) ■廃棄

## 令和元年度 エコポリス板橋環境活動大賞 「産業環境アクション部門『奨励賞』」を受賞 (東京工場)

東京工場では、一人ひとりが地球環境保護や周辺環境への配慮を最優先課題として、エコ活動に取り組んできました。省エネルギーや水の3R (Reduce (リデュース)・Reuse (リユース)・Recycle (リサイクル))、廃棄物の再資源化といった活動が評価され、令和元年度 エコポリス板橋環境活動大賞「産業環境アクション部門『奨励賞』」を受賞いたしました。



## ゆりあげファクトリーの取り組み

グループ会社の理研食品では、2017年7月に「ゆりあげファクトリー」(宮城県名取市)を開設し、わかめ種苗生産を開始しました。優良種苗の安定生産により、その後の海上におけるわかめ養殖の生産性向上が期待できます。2019年度は約24,800mの種苗糸を生産し、宮城県南三陸町のほか各地で活用いただきました。ゆりあげファクトリーのある關上地区では、宮城県内の仙台以南で初めてのわかめ養殖に生産者の皆さまとともに取り組んでいます。2020年は約10トン収穫でき、共販\*品として理研食品が全て購入しました。わかめ養殖海域の開拓とともに、その地域での新たな特産品になるよう、皆さまと一緒に取り組んでいます。

\*全漁連による共同販売



ゆりあげファクトリー外観

## フロン類の漏えい防止

空調や冷凍・冷蔵設備の冷媒として使われているフロン類は、大気中に放出されるとオゾン層の破壊や地球温暖化を引き起こします。理研ビタミンでは、フロン排出抑制法にのっとり、フロン類を使用している設備を定期的に点検し、フロン類の漏えい防止に努めています。また、設備更新の際には、オゾン層を破壊しない代替フロンや、地球温暖化への影響が少ない新冷媒を採用した設備の導入を進めています。



新冷媒を採用した機器を導入(草加工場)

## FSC® 認証紙の採用

理研ビタミングループの家庭用市販品に使用する段ボールについて、国際的な森林認証制度であるFSC® 認証紙への切り替えを目指しています。これまでに、「リケン ノンオイル セレクトィ®」、「リケン ノンオイル」、「リケン サラダデュオ®」シリーズに採用し、家庭用市販品のドレッシング(PB商品を除く)の段ボールは、全てFSC® 認証紙に切り替わっています。FSC® マークは、その製品に使われている原材料が責任を持って調達されたことを意味しています。FSC® マークのついた製品を選ぶことで、責任ある森林管理を世界に広げ、森林を大切にすることにつながります。



FSC® マークの入った段ボール  
(「リケンサラダデュオ®」シリーズ)

## 再生可能エネルギーの利用

2019年に千葉工場内に開設された「アプリケーション&イノベーションセンター(A&Iセンター)」では、環境負荷を低減し自然環境を未来へつなぐため、太陽光発電システムを導入しています。発電した電力は、エントランスに設置したモニターでリアルタイムに確認でき、A&Iセンターで使われます。



太陽光発電システム(A&Iセンター)

# 公正な事業慣行

コンプライアンス精神に基づき、公正で誠実な取引を行います。  
また、取引先との信頼関係を大切に、互いの権利を尊重します。

## CSR調達

理研ビタミンでは、ビジネスパートナーであるサプライヤーの皆さまとともにCSR調達を推進して、サステナブルな社会を目指していくことを目指し、「CSR調達基本方針」を策定しました。

### 理研ビタミン CSR調達基本方針

理研ビタミンは「社会に対して食を通じて、健康と豊かな食生活を提供すること」を経営理念に掲げています。経営理念を具現化するために、サステナブルな社会を目指し、ビジネスパートナーであるサプライヤーとともにCSR調達を推進していきます。

- 人権・労働慣行** 基本的人権を尊重し、労働環境や安全衛生に配慮した調達活動を推進します。
- 公正な取引・腐敗防止** 国内外の法令や会社の諸規則を遵守し、高い倫理観に基づいた調達活動を行います。また、違法な政治献金や不当な利益の提供を行いません。
- 環境への配慮** 地球環境保全の重要性を認識し、社会との共生・調和をはかる調達活動を推進します。
- 情報セキュリティ** 調達活動において提供を受けた機密情報や個人情報厳格に管理します。

## 知的財産権の保護

理研ビタミンでは、特許権や商標権等の知的財産権を企業活動の維持および活性化に不可欠なものであると認識し、理研ビタミンの事業活動の自由度を損なう事がないよう権利の取得を行っています。

そして、他人の知的財産権を尊重し、他人の権利との重複を避けるために特許権および商標権の調査を行いながら研究・開発を進め、当社独自の技術開発、商品開発を行っています。

新入社員、開発部門および営業部門に所属する従業員に対して知的財産権に関する社内規程の説明会や知的財産権制度等の説明会を実施し、知的財産権の意義および制度概要の理解等、知的財産マインドの育成に努めています。

また、特許、意匠および商標に関する社内規程を設け、特許および意匠を出願、登録した際には発明者および創作者に報奨金を支払い、特許権を実施して実績に寄与した場合には発明者に報奨金を支払い、優れた技術やデザインの創造支援を行っています。

## 情報セキュリティの推進

理研ビタミンでは、情報資産の保護と適切な使用のため、情報セキュリティ対策を実施して、情報セキュリティの維持・向上を推進しています。情報セキュリティ教育や定期的な啓発活動として、役員・従業員を対象にe-ラーニングによる「情報セキュリティ講習」や「標的攻撃型メールに対する訓練」を実施しております。このメール訓練は、役員・従業員への「情報セキュリティに対する危機意識の強化」をはかるとともに、訓練結果を分析し今後のセキュリティ対策へ役立てることを目的としており、訓練後には、分析結果および情報セキュリティを取り巻くリスクについての報告会を開催しています。





## 消費者課題

独自性のある原料・技術を活かし、安心安全かつお客さまの満足度を高める商品・サービスを提供します。

### 品質保証

理研ビタミンでは、お客さまに安全・安心をお届けするために、品質保証部門を他部門から独立させ、客観的かつ一元的な品質保証体制を構築しています。

原材料調達・商品開発・製造・物流・販売まで、担当部門と連携をはかり、全てのプロセスで高い品質保証が達成できるよう、以下の取り組みを行っています。

- 国内5工場でFSSC22000の認証を取得、ISO9001と合わせ、理研ビタミンの全工場が食品安全を基点とした品質保証体制の構築に努めています。
- フードディフェンスの強化として、不審者による意図的な危害の防止を目的に、製造部門の協力の下、各生産拠点にモニタリングカメラの設置を完了しました。また、工場入場ルールの見直し、全従業員に対するフードディフェンス教育の実施等、積極的な取り組みを行っています。
- お客さまからの苦情・品質不適合に対し、理研ビタミンのネットワークシステムを活用し迅速に情報共有化をはかるとともに、再発防止を徹底しています。

### 適時適切な情報の開示

理研ビタミンの商品は、おいしさはもとより、さまざまな品質情報をお客さまに開示することにより、安心してお使いいただけるようさまざまな取り組みを行っています。

- 一般消費者さま向け商品は、Webサイトを通じて、商品の原材料ごとに含まれる詳細なアレルギー情報を提供しています。
- 食品原料等、納品先業者さまからご依頼を受けた商品の規格書、調査書等は、文書発行システムを通して発行管理され、正確な情報を迅速に提供いたします。
- 新商品の表示内容は、表示適合性審査会を開催して審議し、法にのっとった正確で分かりやすい表示が記載されるように努めています。
- 食品表示法(原料原産地表示)には随時対応をはかりラベル表示の変更を進めており、順次新制度に合致した表示内容に変更しています。

### お客さまとのコミュニケーション

理研ビタミンでは、一般消費者さま向け商品に関するお問い合わせ窓口として「お客様相談センター」を設置しています。お客様相談センターでは、お客さまからのお問い合わせ、ご意見、ご要望に真摯に耳をかたむけ、ご満足いただける回答をお届けできるよう日々取り組んでいます。

また、寄せられた情報を基に「お客様の声評価会議」を定期的で開催し、ご意見やご要望が商品に反映されるよう、関連部門への働きかけを行う等、継続的な取り組みを行っています。

- 商品に関連する情報のデータベースを充実させることにより、お客さまのお問い合わせに迅速かつ正確にお答えできるよう努めています。
- お客さまからのご意見、ご要望は「お客様の声評価会議」で積極的に取り上げ、必要に応じ改善要請として担当部門に伝達されます。お客さまから寄せられたアイデアは開発部門に伝達され、新商品や商品リニューアル時の参考情報としてストックされます。
- お客さまから寄せられたご意見、ご要望が具体的な改善につながった事例は、Webサイトで公開ご紹介しています。また、よくお寄せいただくお問い合わせや、Q&A等も掲載し、商品をより快適にお使いいただけるよう情報公開を行っています。

# コミュニティへの参画及びコミュニティの発展

事業資産や知見を活かして地域貢献度を高め、コミュニティと一体となった発展に努めます。

## 国連WFPへの協力活動

理研ビタミンは、国連唯一の食糧支援機関である「WFP 国連世界食糧計画」の公式支援窓口である「国連WFP協会」の活動に賛同し、2005年から同協会の評議員として飢餓を無くすための活動に参加しています。

### ■ WFPウォーク・ザ・ワールドへの参加

理研ビタミンの従業員有志で、「WFPウォーク・ザ・ワールド」に参加しています。

「WFPウォーク・ザ・ワールド」は、途上国の子供たちの飢餓を無くすために、国連WFP協会が開催するチャリティウォークです。参加費の一部は、飢餓の子供たちの成長と就学を支える国連WFPの「学校給食プログラム」に役立てられています。



### ■ 年末募金の実施

理研ビタミンでは、年末に従業員による社内募金やチャリティーグッズの社内販売を行っています。集まった募金は、マッチングギフトとして募金総額に会社が上乗せして、国連WFP協会に寄付しています。



2 飢餓をゼロに



17 パートナースHIPで目標を達成しよう

## 地域のイベントへの参加

食品事業の主力工場である理研ビタミン草加工場は、「草加せんべい」で知られる埼玉県草加市にあります。

その縁から、草加の商店街グルメ・名物グルメの祭典である「街グルin草加2019」（主催：草加市）に昨年に引き続き参加し、草加工場で製造しているドレッシング・だしのセットを販売するブースを出展しました。



## 理研ビタミンの“未来を拓く食育”

理研ビタミンでは、学校給食を通して「子供たちの食」を豊かにしてきましたが、食育授業を通して「子供たちの健康や食生活」を豊かにする取り組みも進めています。

理研ビタミンの「わかめ学習出前授業」の多くは、小学校の「総合的な学習の時間」の中で学んでいただいています。授業後の児童の皆さんからの感想は「わかめが想像以上に大きくビックリした」や「体にとって良い食べ物とはじめて知った」等。毎年の授業カリキュラムに入れてくださっている学校も多く、好評をいただいています。

総合的な学習の時間のほかにも、「家庭科」の時間では実際に「わかめおにぎり」を作ったり、「社会科」の時間では5年生の「育てる漁業」の単元に合わせたりと、さらに詳しく学んでいただける内容もご用意しています。



### 五感で感じる体験型授業

わかめは、食物繊維を豊富に含み、「腸のお掃除役」として健康な体づくりにつながる食材です。

理研ビタミンでは、わかめの栄養・生態・産地を楽しく学習していただける授業プランをご用意しています。

#### プラン「わかめパワーのひみつについて探ろう！」

対象：小学校3～6年生  
所要時間：45分  
実施場所：家庭科室、理科室、ランチルーム等  
実施単位：クラス単位（合同不可）  
実施時間：学校授業時間内（3時間目以降）  
※土日・祝日は除く  
費用：無料

#### プラン「社会科 ～水産業～育てる漁業」

対象：小学校5年生  
所要時間：45分  
実施場所：家庭科室、理科室、ランチルーム等  
実施単位：クラス単位（合同不可）  
実施時間：9月～12月の学校授業時間内（3時間目以降）  
※土日・祝日は除く  
費用：無料

2019年度から、社会科「育てる漁業にはげむ人々」の時間に連動した授業プランが加わりました。わかめ養殖風景の写真や動画を見ながら、生産者の想いや養殖業の工夫や努力について学びます。

※実施エリア：東京を中心とした千葉県・埼玉県・神奈川県および宮城県多賀城市を中心とするエリア

※移動時間等の都合によりお受けできない場合があります。ご了承ください。

※学校職員の方が「進行役」、当社スタッフが「ゲストティーチャー」として、一緒に授業を進めます。

### 第8回富県宮城グランプリにて「『みやぎの食』振興部門賞」を受賞（理研食品）

宮城県では、富県宮城の実現に向けて、産業の発展、地域経済の活性化に対する貢献が顕著である企業、団体および個人を「富県宮城グランプリ」にて表彰しています。

理研食品では、わかめをはじめとする海藻関連製品の研究・開発・製造、ドレッシング、調味料、エキス関連製品の製造を行っており、高齢社会や健康志向といったニーズに応えた商品開発のほか、2017年には最先端の技術・設備を備えた「ゆりあげファクトリー」（宮城県名取市）を開設し、わかめの加工および種苗生産や海藻の基礎研究に取り組んでいます。このような取り組みを通して、食品産業の発展や食文化の普及に大きく貢献していると評価され、今回の受賞につながりました。





# CSR

## REPORT 2020

理研ビタミン株式会社

<https://www.rikenvitamin.jp/csr/>



UD FONT  
by MORISAWA



「CUDマークはNPO法人カラーユニバーサルデザイン機構により、認証された印刷物、製品等に表示できるマークです。」

2020年7月 発行